



第13号

社会福祉法人

おお しみ いく とく かい

大三島育徳会

広報誌



社会福祉法人

大三島育徳会

〒157-0077 世田谷区鎌田 3-16-6

TEL 03-5491-0340

FAX 03-5491-0343

<http://www.oomishima.jp/>

せせらぎ

「新型コロナウイルス感染症対策 大三島育徳会の緊急対応」特集



施設長就任ごあいさつ

田中美佐



新型コロナウイルスの収束が見られずまだまだ不安がありますが、私たち大三島育徳会は、全力で予防策を遂行しております。ご利用者はもとより、職員もコロナウイルスに感染することなく、過ごしております。

このような時期ではありますが、田中雅英理事長が、博水の郷の施設長を辞め、理事長を兼務している、社会福祉法人三交会「青葉台さくら苑」の施設長に着任しました。18年余にわたり、博水の郷を地域の皆さまからの信頼を得る施設となるようけん引し支えてくれましたが、その力を、「青葉台さくら苑」で発揮される予定です。

その後任として就任いたしました。皆さまにとって私では未熟で不安であると思います。逆に、身近な施設長として、接していただけたらと存じます。

今後、坂井祐施設サービス部長、佐藤朋巳在宅サービス部長が、それぞれ副施設長として支えてくれることになりました。3人態勢で博水の郷を、今まで以上に地域の皆さまから信頼される施設にしていきたいと思います。

就職希望の方には「大三島育徳会に就職できてよかったね。」「博水の郷で働いているなんてすごいね。」「ご利用者やご家族、地域の皆さまには「博水の郷を利用したい」「博水の郷に入ってよかった」このように言ってもらえる法人、そして施設を目指してまいりたいと思います。

皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。これからよろしくお願いいたします。誠心誠意、努めてまいります。これからもよろしくお願い申し上げます。

令和2年7月吉日

社会福祉法人大三島育徳会理事
特別養護老人ホーム 博水の郷

施設長 田中 美佐



博水の郷 特別養護老人ホーム & ショートステイ



外部の方は玄関前で手指消毒と検温をして入室しています。

感染症対策と新しい生活様式

毎年行っている感染症対策に加えて、今年度は新型コロナウイルス対策もあり、より徹底して対応しています。

毎年10月になると、手洗いとうがい、消毒の徹底、起床時のご利用者検温、職員の出前検温を実施して、37℃以上あれば上司に報告、相談して勤務を決めるなどの対応が始まります。

1 処置1手洗い、手指消毒を徹底、職員は消毒液を小さなスプレーボトルに入れて持ち歩く、出入口や階段のドアノブ前に消毒液を置き、ドアノブに触れる前に手を消毒して触るなどの工夫をしています。

今年度は、不本意ではありましたが、特養とショートステイフロアには、ご家族の面会制限をさせていただきました。加えてボランティアの皆さま、マッサージや理美容業者、物品の搬入業者などの出入りを中止しました。フロアには職員と医療の先生以外は入らない状況にしました。ソーシャルディスタンス確保のため、大人数の会議は書面回覧やビデオ会議として縮小、職員の昼食は、各事業所で交わらないよう食事場所を分ける、各々1人ずつ距離を開けて静かに食べる、不必要な各階の移動を避ける、タブレットやパ

ソコンなど共有物に触れる時は消毒してから使用するなど、ご利用者の介助以外の3密を避ける対応を心がけています。

緊急事態宣言が解除された今、特養とショートステイのフロアでの新しい生活様式を考えています。5月中旬より、入居者のご家族のオンライン面会を開始しました。また全体的な行事は難しいためユニットごとにイベントを考えて開催し、ご利用者の楽しみの機会を作っています。

まだまだ落ち着かない日々が続きますが、今年度はご利用者の安全第一を念頭に、対応してまいります。



ドアノブに触れる前に手指消毒を徹底しています。

「第4回 だんだんまつり」「第27回 玉福まつり」中止のお知らせ

秋に開催を予定していた「第4回 だんだんまつり」「第27回 玉福まつり」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、来場される皆さまが安心して楽しめる状況になるまで、開催の休止を決定しました。

開催を楽しみにされていた皆さまには大変ご迷惑をおかけすることとなり申し訳ございません。

何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。



「新型コロナウイルス感染症対策 大三島育徳会の緊急対応」特集

手洗いの大切さ

博水の郷看護課 池内祥子

博水の郷では、厚生労働省が示した感染対策マニュアルに基づき、平常時より標準予防策の徹底を図っています。

具体的には ①手洗い（1処置1手洗い）、手指消毒 ②マスクの着用を含む咳エチケット ③個人防護具（エプロン、ガウン、ゴーグル）の使用 ④手袋着用です。

感染症対策で、特に手洗いは基本です。人が罹患する要因の多くは、手に付着した病原微生物（細菌、ウイルス等）が物品に付着し、そこからまた手を介して鼻や口、目から体内に入ることです。多くの病原微生物は、電車のつり革・手すり・エレベーターボタン・ドアノブ等を介して手から手へと拡がり、それが感染拡大のきっかけとなります。

つまり、手は見た目には汚れていなくても病原微生物が付着している可能性があるため、石けんと流水を用いてきれいに洗い流す習慣をつけ

ることが、感染対策の基本であり、最も重要な手段です。

手洗いは、「日常手洗い」「衛生的手洗い」「手術時手洗い」の3つに分けられ、TPOに合わせて使い分けられています。日常手洗いの方法を紹介します。食事の前やトイレの後など日常的な行動に伴った手洗い法です。

1. しつかりと石けん液を泡立てること。泡立てることで、手全体や手のしわなどに石けん液がいきわたります。
2. 石けん液で10秒もみ洗い、さらに流水で30秒流すこと。
3. 2回手洗いを実施することで、ウイルスの除去効果があるというデータもあります。特に冬場のウイルス流行時のトイレ後は2回手洗いの実施をお勧めします。
4. 親指や指先、指の間などは手指衛生が不十分になりやすいため、ていねいに洗うようにしましょう。



写真付きでわかりやすくしています。



▲まるで鬼滅の刃の無限城みたい!!?



▲喜多方ラーメン

福島県

玉川福祉作業所 支援員 小高 翔太

知っていますか？実は福島県は全国で3番目に広い県なんです！各地域は、会津地方、中通り地方、浜通り地方に分けられます。地域ごとに違う文化や方言があり、同じ福島でも全く違います。

会津地方は、白虎隊・喜多方ラーメンなどが有名ですね。私のイメージは山！5年前に玉福の宿泊行事で行ってきました。宿泊した大川荘は今人気の鬼滅の刃に出てくる無限城に似ていると噂になっていますね。

浜通りは、首都圏からの送迎バスもあるスパリゾートハワイアンズ（私は小さいころに1度しか行ったことがありませんが）、相馬野馬追が有名です。私のイメージは海！同じ県内ですが、私の家からは海まで車で2時間かかりました。

中通りは、白河のどるまやラーメン、三春の滝桜が有名です。新幹線や高速道路が通っていて東北の玄関口にもなっていて交通の便が良いです。福島の中では方言がそれほどきつくない地方で、東京に出てきて私も訛っていないと思っていましたが、友達全員に否定されました（笑）

私は中通りの鏡石町というところの出身で、高校卒業まで18年間を過ごしました。唯一自慢できることがあるとすれば、「岩瀬牧場」です！日本初の西欧式牧場で明治天皇が直々に開墾を指示したと言われています。唱歌にもなっている「牧場の朝」のモデルにもなっていて町民はもれなく全員歌うことができます。動物とのふれあいや四季折々の植物がきれいですが、1番はソフトクリームが抜群にいいです。

温泉も多く、日本酒もおいしく、山も海もある福島は観光にもってこいですね！是非みなさんも行ってみてください。

青森県

博水の郷 施設サービス部 介護職員 米澤 紗織

皆さんこんにちは、私のお国自慢は青森県です。皆さんで存知の通り、「りんご」や「ねぶた祭り」が有名な県です。ねぶた祭りは8月上旬頃に1週間開催されるもので、私は数回お囃子として参加しました。跳人と呼ばれる人達は、観光で来た人も飛び入りで参加できます。衣装に沢山ついているのは鈴で、跳ねているうちにどんどん落ちていきます。その鈴を拾うことが出来る、幸せが来る…らしいです！

私の住んでいた地域は県庁所在地がある青森市で、一番雪が多く降るところでした。通学に1時間以上かかるのも当たり前で、雪だるまのようになりながら登校していました。

十和田市では「十和田湖冬物語」というイベントが開催され、巨大なまくらBARが毎年オープンします。凍らせた林檎を器に、林檎ジュースを飲むことができ、これが普段と違って、とてもおいしいんです。この他にも春夏秋冬、地域ごとにオススメイベントが沢山あるので、是非皆さん一度足を運んでみてください。



▲ねぶた祭り



▲かまくらBAR

日本全国 出身地紹介 職員の… お国自慢

第4回 東北地方 第2弾!

法人職員の出身地を、地元の暮らし、お勧めの食べもの、子供の頃のエピソードなどと共に紹介する連載コーナーです。



秋田県

博水の郷 施設サービス部 介護職員 柴田 安奈

私の出身地、秋田県湯沢市を紹介していきたいと思います。秋田県湯沢市は、秋田県南部に位置する市です。市街地の西側を南北に羽後本線が走り、その西に雄物川が流れています。古くから秋田「羽後国」の南の玄関口として発展してきました。小野小町誕生の地を自称しています。秋田県湯沢市秋ノ宮は、現在の官房長官、菅義偉氏の生まれ故郷でもあります。

芍薬が咲き誇る6月の第2日曜日に、小町をしのんで開催されるのが「小町まつり」です。お祭りの当日に行われる「本祭」は、市内から選ばれた7人の小町娘が、平安時代の衣装に身を包み和歌を詠うという典雅で優美なものです。幼児達が衣装に身を包んで歩く渡り行列や小町娘の撮影会もあり、平安への世界へと観客を誘います。

また、稲庭町は、雄大な山々に囲まれ、清んだ空気と、清らかな水に恵まれたことから、元々良質な小麦の産地でした。江戸時代の始め、この雪深い稲庭地域で、その小麦を練って保存食としたのが日本三大うどんの一つ稲庭うどんです。稲庭町では佐藤養助総本店が有名で、お盆の時期等県外から食べに来られる方も多く、行列になっているほどです。皆さんも是非秋田県湯沢市に遊びに行ってみてください。



▶小町まつり



▲湯沢市観光案内所にも菅さんが…



玉川福祉作業所

長い自粛生活も明け、玉川福祉作業所も6月から施設利用再開になりました。しかし、ここで気が緩んでまた感染拡大しないよう、「新しい生活様式」を実践することが大事ですね。玉福では毎日、朝礼でご利用者のみなさんとペーパーシアターを使って「新しい生活様式」の学習をしています。

ほかにも所内のいたるところに感染防止の工夫がたくさんあります。並ぶ場面では列が密にならないよう足形をはって距離をとっています。館内の手すりやス



ペーパーシアター

イッチ類に「ウイルス君シール」を貼って、その場所は特に念入りに消毒をしています。また「手洗確認スタンプ」を手を押してスタンプが消えるまできちんと手を洗う練習をしました。

あまり神経質になりすぎないように、ちょっとユーモアを取り入れて面白がりながら実践できるところが玉福らしいアイデアです。

※「平石紙器工業株式会社」からサージカルマスク200枚ご寄付いただきました。



ウイルス君シール



ホーム いろえんぴつ

緊急事態宣言中はショートステイの利用自粛協力をお願いし、入居されているご利用者のみの対応になりました。自粛解除になってからショートステイは1～2名で再開しました。館内の消毒やうがい手洗い、1日2回の検温で健康チェックをし、ソーシャルディスタンスという新しい取り組みに食堂座席の位置に配慮をしました。利用者が使った浴室は換気してから入ってもらえるよう工夫もしました。自粛期間が長くなり移動支援での外出もできなくなってきたので「体操」の時間を作りました（もちろんソーシャルディスタン

スで）。これが思いのほか好評で、体操を行う利用者は大きく動くことで活気を取り戻し、職員も一緒に楽しく参加し体を動かしました。

自粛期間で習慣化されたので、体操の内容を工夫し今後も続けていきたいと思います。

また、マスク不足が深刻になった中、世田谷区内の個人のお店に「マスクポストを設置した所、たくさんの寄付でマスクが集まった」と連絡が入り50枚のマスクを送っていただきました。地域のこうした温かい行為に大変感謝します。ご利用者のために使っていきます。今後も心配なことは続きますが職員、利用者、地域に支えられながら、私たちがお返しできることを考え、取り組んでいきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。



デイサービス

日頃の取り組みを大切に…デイサービスでは到着してすぐにうがいと手洗いをしています。昼食、喫茶、調理前など、職員と一緒に「手洗い」を徹底しています。新型コロナウイルス予防のために、いつもの取り組みを、より丁寧に、「正しい手洗い」を意識しています。

こまめなテーブルの消毒や換気も、いつもの取り組みにより力が入ります。ご利用者が帰宅された後は、職員全員でフロア内・事務所の消毒も徹底しています。



喜多見だんちデイ

感染症に打ち勝つためには「健康」が一番です。免疫力を高めるために、毎日元気に体操をして体を動かし、みんなと一緒に笑うことを大切にしています。

そして今年も自家製『梅シロップ』作



博水の郷

りは準備万端！梅のクエン酸パワーは夏バテ防止、免疫を高めます。体操後の水分補給に梅ジュースをお出ししています。暑い夏にむけて、さらに免疫力アップと感染症・熱中症予防に取り組んでいきます。



タガヤセ大蔵デイ



やまぼうし

グループホーム・デイサービスやまぼうしは共同生活の場であり、入居者同士の隔離対応などが難しく濃厚接触となりやすいことから、ウイルスの侵入を未然に防ぐことが重要となります。国内での新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、やまぼうしでは来所される皆さまに対して、緊急時の病院受診付き添い対応などの例外を除き、全面的な面会制限を行っています。

ホーム内の生活では、ドアノブや手すりの消毒を頻繁に行い、リビングや各居室をこまめに換気しています。さらに、毎日行っていた入居者の商店街・スー



パーへの買い物外出を自粛し、散歩はマスクを着用してやまぼうし周辺の緑道など人が少ない場所で行い、外から戻ってきたら、うがいや手洗い、エタノールに

よる手指消毒を徹底しています。社会的にマスクの入手が困難になってからは、職員手作りの布マスクを着用しています。

また、外出の機会が減ることによって、身体機能や認知機能が低下しないように、一日の出勤職員を人員基準に定められている人数より多く配置して、玄関先での日光浴やティータイム、さまざまな体操や体を動かすレクリエーションを普段より多く行っています。

職員は、感染すると重症化しやすい高齢者と、日々接していることを自覚し、自らが感染源とならないように、休日にも不要不急の外出を控え、外出の際はマスクを着用し、人混みを避け、帰宅後のうがい・手洗いを徹底し体調管理に気を配っています。





施設長交代の ごあいさつ



7月1日をもって、博水の郷の施設長を辞め、目黒区にある社会福祉法人 三交会が経営する特別養護老人ホーム「青葉台さくら苑」の施設長に就任しました。8月には、博水の郷から出向する人数が10人にもなるので、私が陣頭指揮をとった方が良いという判断をしました。ただし、二つの法人の理事長は引き続きつとめてまいります。

社会福祉法人 大三島育徳会創設から約20年、博水の郷開設から18年間、職員をはじめ、ご家族、地域の皆さまには私を支えていただき、そして、ここまで博水の郷を育てていただいたことに心から感謝します。

後任には総務・事務部長の田中が就任しました。ぜひ、私同様に支えていただくことをお願いします。なお、坂井副施設長に加えて、佐藤在宅サービス部長が副施設長に昇格し、しっかりサポートをしていきます。皆さまのご協力を合わせてお願いします。

永年にわたり、ありがとうございました。
これからもよろしくお願いいたします。

令和2年7月吉日

社会福祉法人 大三島育徳会

理事長 田中雅英

オンライン合同説明会

新型コロナウイルスの感染拡大というアクシデントで、求職者の方々と直接会って説明や質問を受ける機会が失われました。

そのような中でも、求職者の方々に当法人を知って頂くために、「介護・福祉のオンライン合同説明会 2021」というサイトへの掲載を行いました。実際に会って話をするより、内容は劣りますがとても貴重なツールになっています。

まだ、説明を行った人数は少ないですが継続していきたいと思います。



法人寄附について

大三島育徳会では、法人に様々な寄附金や寄附品を頂戴します。数ある施設の中から、当法人を選んで下さったことに感謝をお伝えすると共に、使途をしっかりと伺い、法人運営に活用させていただきます。

今回ご利用者家族、ボランティアの方々、学生、地域の皆さまから、寄附金や新型コロナウイルスに関連した寄附品、励ましのお手紙など、たくさんのご厚志を頂戴しました。本当にありがとうございました。

◆寄附金・寄附品のお礼◆ ※敬称略

《寄附金》●個人 阿久沢佐喜子 荒井ひろ美 石井和夫 磯崎恵美子 岩谷八重子 岩永和子 上田和美 古川利恵 小嶋みやこ 小松幹雄 小宮富美子 佐藤進 佐藤朋巳 澤野由子 鈴木崇 鈴木保正 田中英雄 田中美佐 田中瑞枝 椿とき子 永田末子 根岸久美 野田小夜子 野村潔 野村浩 橋本睦子 早川修平 早川ゆき 林田明美 林田繁 原佳子 藤本利治 星野達雄 堀口清則 堀口宏明 松山正作 松山俊之 室清 山岸久子 山口晃 矢野弘枝 山下順子 山下融 渡辺輝男 和田雅世 匿名5名 計40名

●法人・団体 (株)アイテックス カトリック礼拝会 鎌田南睦会 東京リネンサービス(株) 新館建設(株) 日本たばこ産業株式会社 東京支社 パリユープラス(株) (株)ファミック (有)富士自動車工業 代表取締役 春日侃 (株)ヘルステクノロジー 松坂税理士・社労士事務所 (株)ワイヤレスコミュニケーション研究所 計12団体

《寄附品》イ・テガン 平石泰司 匿名希望 計13組

貴重なご厚志ありがとうございました。(令和2年2月～令和2年6月)



せせらぎ 第13号

発行日 2020(令和2)年7月15日
発行者 せせらぎ広報編集委員会
発行所 社会福祉法人 大三島育徳会
〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6
TEL 03-5491-0340
FAX 03-5491-0343
<http://www.oomishima.jp/>

「使用した掲載写真は、ご本人とご家族・関係者の同意を得ております」

編集後記

今号は、新型コロナウイルス感染症対策特集としました。ご家族や地域の皆さまから、たくさんの励ましのお声をいただき、ありがとうございます。1月中旬に日本での初感染者が出て以降、約半年の間に様々な生活が変わりました。しかし法人職員は、今までやりたくてもできなかった趣味を始めてみたり、妙に凝った料理を作ってみたり、断捨離してスッキリしてみたり・・・楽しみを見つけないが日々頑張っています。大三島育徳会は、新しい生活様式をふまえて、今後も明るく楽しい情報を発信していきます。(Y)